



丹波の森

兵庫丹波の地域情報誌

No.50

2015.1



* CONTENTS *

- ◆ 地域理解学／丹波地域まちづくり交流…p2・p3
- ◆ 森あそびのススメ／丹波青少年本部からのお知らせ…p4
- ◆ 地域づくり情報／くらしあんしん…p5
- ◆ 丹波の森情報／丹波の森公苑…p6
- ◆ 丹波年輪の里／ささやまの森公園／丹波並木道中央公園…p7
- ◆ お知らせ／森のクイズ…p8

『地域理解学』



丹波の森公苑長
丹波の森研究所長
中瀬 勲

丹波新聞創刊90周年の記念式典が、10月23日に、森公苑多目的ルームで開催されました。多くの来賓の皆様が集われる中、「さすが丹波新聞」といふべき洗練された演出がありました。記念講演は、丹波新聞と同じ年、90歳を迎えられた河合雅雄先生が、「人類の起源と日本人の起源」と題して、化石などの年代測定法から人類の起源までについて、熱く語られました。この式典に参加して、地域密着型の新聞社が、丹波を舞台にして脈々と活動されてきたことに、改めて親しみを感じるとともに、心から敬意を表した次第です。

地方紙の定義とはどのようなものでしょうか。明確ではありません

んが、地方紙は、「……発行部数や発行エリア、発行シエアによって地方紙の分類を行うことがある。また地方紙と地域紙を別のものと考え……」(ja.wikipedia.org/wiki)と記されています。こう考えますと、私たちの周りには、全国紙、地方紙、そして地域紙があるといえます。全国紙、地方紙では、到底対応できない地域のジャーナリズムを、丹波新聞は担っている、あるいは開拓しているといっても過言ではありません。この度の市島の災害報道は、地域紙としての丹波新聞の面目躍如たるものでしょう。これから超高齢社会を迎える多自然居住地では、紙媒体としての新聞がはたす役割は格段に大きいと思います。さらに、丹波から外へ出られた方々に、懐かしい生きた故郷の情報を送り続ける発

信機能も高いと聞きます。まさに、地方紙、地域紙のモデルであると思いました。

地理学や地域学などの分野で、地域を計量的に把握する方法は多くありますが、地域に暮らしている人々を含めて総合的に把握する「地域理解学」という概念は、既存の学問体系には存在しないと思います。長年、このことを考えていたのですが、地域に住み続けているいわゆるレジデント型の丹波新聞の記者の方々が地域を巡ってつくり上げる新聞、これらそのものが地域理解であると思うようになりました。丹波の森公苑の職員、兵庫丹波の森研究所の研究員のことをレジデント型と思っています。このような地域密着型の、新たなタイプの研究者、実務家が、丹波新聞の方々と共に、丹波地域での地域理解を促進して、新たな地域創生の地、丹波となるよう協働して行動して頂けることを心から期待致します。

丹波地域 まちづくり交流



ふくろう爺爺さん、あけましておめでとつ。今年もよろしくね！



ああ、おめでとつ。たんちゃん
は相変わらず元気じゃな。昨年
の十月二十六日の丹波の森フェスティ
バル以来じゃの。



ほんとね。森フェスは楽しかったわ。色んな食べ物もいっぱい
食べたよ。人もたくさん来てたね。



そうだったな。六千人ぐらいの
お客さんが来られたそうなの。



丹波の森フェスティバル(平成26年10月)



ところで丹波竜に学名がついた
ことは知っておるかな？

学名ってな〜に？ 新しい名前が付いたと言っこと？

まあそんなところじゃな。学名というのは、ラテン語で書かれた世界共通の名前じゃな。そして新しく学名が付いたと言っことは、丹波竜が他の竜脚類恐竜とは違う、新種の恐竜だったと言っことじゃな。

へえ〜！ ラテン語って分からないけど、どんな名前なの？

「タンバティタニス・アミキテイアエ」と言っんじゃ。ちなみに篠山市宮田で発掘された哺乳類化石に付いた学名は「ササヤマミロス・カワイイ」と言っんじゃ。

学名に「タンバ」や「ササヤマ」の名前があるのは自慢ね！

そうじゃな、この名前を見た世界のの人に篠山や丹波を知らせることになるからの。

それから十二月三日には「丹波地域まちづくり交流会」が開催され、沢山の参加があったんじゃ。

まちづくり交流会ってどんなことをしたの？

まちづくり交流会は、丹波地域で地域づくりをやっている人達の勉強会のようなものじゃな。今回は「空き民家の活用」をテーマとして、2つの活動グループの発表と成美大学の中尾先生の講演があったんじゃ。



丹波地域まちづくり交流会(12月3日)



まちづくり講演会

ちよつと難しそうね。空き家は地域で問題になつてきているの？

そうなんじゃ。集落の中でぼつぼつと空き家になつてきている家が目立つようになつてきて、地域の住民の皆さんは不安がっているようじゃ。

住民の皆さんは、どんなことで不安と思つているのかしら？

そうじゃな、空き家になつてしまつと火災や犯犯上の問題も出てくるし、放つておくと台風などで壊れて被害が出ることもあるしな。

だから空き民家の活用がまちづくりのテーマとなつておるんじゃ。今回のまちづくり交流会では、空き家となつた古民家を再生して宿泊施設したり、地域の交流の場として活用している事例が発表されたんじゃ。

お祭りは楽しいけど、まちの問題は大変ね。「まちづくり」と言つてもいろんなことがあるのね

そうじゃな。地域のまちづくりは、地域で協議会を作り、色々な取り組みをされておるぞ。人口が減少し、まちづくり活動の中心となつていく人たちも高齢化し、大変なんじゃ。

どんな活動をしているのかな。たちちゃんも手伝えるかな。

ふれあい出前カフェ (開催日: 毎月1日)

春日部地区自治協議会

ふれあい出前カフェ

ひょうろの民家

はるの民家

健康講座

グループ・21の大会

現在作成中

丹波地域まちづくり報告書(現在作成中)

えらいぞ。森協会では、「丹波地域まちづくり報告書」というのを作つておるところじゃ。皆さんがどんな活動をしているかを知つてもらつて、どんどん参加してほしいものじゃ。

プロフィール

たんちゃん

丹波地域に住む、小学4年の元気な女の子。ふくろう爺さんと話すうちに、丹波地域や地域づくりのことがだんだんわかり、おもしろくなつてきた。

ふくろう爺さん

丹波の森に長く棲み、丹波地域を見つけてきた長老のふくろう。地区ごとの地域づくりをあなたがかく見守りながら、エールを送っている。

地域づくりは、地域の課題の解決と望ましい将来像の実現にむけて、地域の資源(人・モノ・カネ・情報など)をいかして持続的に取り組むことです。兵庫丹波の森協会／丹波の森研究所は、支援が必要な地区の勉強会や計画づくりなどに研究員がかけアドバイスをしたり、ご相談に応じます。

ご連絡は
兵庫丹波の森協会(門上)へ
TEL:078-420-0131
F:078-420-0132
E:mail:norikenyu@tanbanori.or.jp

森あそびのススメ

メグスリノキを 知っていますか？

丹波の森公苑内には 200 種類を越える植物がありますが、昨年の NHK 大河ドラマ「軍師官兵衛」の主人公黒田官兵衛(のちの黒田如水)に関係した木があります。

司馬遼太郎が書いた「播磨灘物語」は、黒田官兵衛の生涯を描いたものですが、その中に黒田官兵衛の祖父である黒田重隆がメグスリノキを煎じた目薬を作り、黒田家発展の基となった財産を築いたと書かれています。

メグスリノキは、東北地方の一部を除く本州と四国、九州の山地に生え、高さが 10～15 メートルになるカエデ科の落葉高木で、秋には紅葉します。

名前の由来は、灰色がかったなめらかな樹皮を煎じて洗眼液にするので、メグスリノキ(目薬の木)と言われています。(山溪カラー図鑑日本の樹木参照)

目薬としてのメグスリノキの歴史は古く、既に戦国時代には、目薬として利用されていたようで、江戸時代初期までは眼病の特効薬として評判になっていたそうです。

丹波の森公苑には、メグスリノキが1本だけあります。展望台から降りてくる急な階段(里山遊びマップの標識「14」から「8」と遊歩道「ひだまりのみち」の合流点にあります(標識「8」)。里山遊びマップでは遊歩道「ひだまりのみち」の山側に記載されていますが、実際には反対側の建物側(谷側)にあります。略図なのでこの点についてはお許しください。

ハイキングがてらに探してみるのも、楽しいのではないでしょう。



紅葉したメグスリノキ



メグスリノキの葉(小葉が3枚集まった複葉)

丹波青少年本部からのお知らせ

丹波出会いサポートセンター 会員募集中

はばタン会員(年会費:5,000円)
1対1の「お見合い」の場を提供します。

あいサポ会員(年会費:無料)
交流会など、出会いのイベント情報をお届けします。



「良い出会いがあれば結婚を…」と考えている皆様を応援しています。開設以来、お見合いやイベント等を通じてご成婚されたカップルは、県内 10 カ所のセンター合計で 350 組を超えました。

あなたも、一歩踏み出してみませんか。どうぞお気軽にご連絡ください。お待ちしております。

※ プライバシー保護のため、来所による相談等は予約制とさせていただきます。

まずは
お電話
ください

丹波出会いサポートセンター(丹波の森公苑 1F 丹波青少年本部内)
TEL:0795-78-9130

開館日:水・土・日曜日 9:00～17:15

閉館日:月・火・木・金・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)・丹波の森公苑休苑日

交流をペースとした地域活性化の取組

県民交流広場では、地域のみなさんが主体となって様々な手作りのコミュニティ活動が展開されています。昨年 11 月に兵庫県公館で行われた「第5回地域コミュニティアワード 2014」では、丹波地域から次の 2 団体が出展し活動を報告しました。

活動の紹介

都市との相互交流事業の展開 (丹波市柏原町新井地区)

新井地区では、平成 24 年度から「神戸市灘区岩屋地区」と交流事業を展開しています。遊休農地を活用した丹波黒大豆の種まきや田植えを体験し、秋にはこれらの収穫を通じて作物を育て収穫する楽しみを分かち合い、農業への理解を得ています。農業体験以外にも地元発祥の「囲碁ボール」や「ホタルの観賞会」などで交流を深めています。今年は新井地区の子ども達が岩屋地区を訪ね、震災からの復興の様子や震災への備えの大切さを学びました。相互の交流を継続しこれまで以上に強い結びつきを実現していきます。

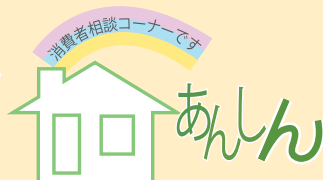


地域の絆を軸とした活性化 (篠山市後川地区)

後川地区では、過疎、少子高齢化が進展する中でも、地域の出身者が心のふるさととして、いつでも受け入れられる地域でありつづけるため、また、地区住民が自然や文化に触れられる機会として「ふるさと後川夏祭り」「ふるさとふれあいカフェ」「後川春来まつり」などを実施し、地域との絆を深めています。地区内ではスポーツクラブ 21 後川をはじめとする各種団体と連携を深めるとともに、地域内の巡回活動など高齢者をはじめ誰もが安心して暮らせる地域づくり事業を展開しています。



くらし



調査会社を名乗るメールにご用心

相談事例

スマホに、サイト運営会社から依頼を受けたという所からメールが届いた。以前利用したサイトにおいて、無料期間中に退会手続きを行っていないため登録状態になっていると書いてあり、差出人はサイトとの和解や退会手続きの代行を行う調査会社となっている。内容には身に覚えがないが、そのまま放置しておいたら訴訟手続きに移行すると書いてあり不安なので相談する。

アドバイス

携帯電話やパソコンに、調査会社と称する所から不審なメールが届いたという相談が複数寄せられています。メールの文面はどれも似通っており、「登録をした情報サイトで、無料期間中に退会をしないまま放置していたので料金が発生している。サイトから依頼を受けて通知をしているものだが、そのまま放置しておけば、裁判になるので至急連絡をするように」といった内容です。これらは、個人を特定せず無作為に発信している架空請求メールです。このようなメールが届いても、あわてて連絡をしないでください。連絡

をしてしまうと、更なる個人情報を読み出されたり、何らかの高額料金を請求されたりする恐れがあります。トラブルにあわないためには、メールに返信をしたり連絡先に電話をかけたらず着信拒否設定にするなどして無視をしましょう。

何か心配なことがあれば、すぐに消費生活センターにご相談ください。

出前講座実施中(費用無料)

職員が自治会や老人会などの集会に向いて、わかりやすく事例を紹介しながら、悪質商法等の被害防止を呼びかける「出前講座」を行っていますので、ぜひご利用ください。

丹波消費生活センター(丹波の森公苑内)
TEL(0795)72-0999 FAX(0795)72-0899

丹波の森公苑

※下記のお問い合わせ先 丹波の森公苑文化振興部 ☎0795-72-5170

丹波の森公苑寄席

～桂ざこば～門落語会～



桂 ざこば



桂 塩鯛

～桂ざこば 丹波の森公苑 初参上～

- 日 程 平成27年2月21日(土) 14時～16時
- 場 所 丹波の森公苑ホール
- 内 容 桂ざこば一門による落語会
- 出 演 桂ざこば、桂塩鯛ほか
- 入場料 3,000円
※ペア(2枚一組)で購入されたら5,000円
- 座席指定 有り

好評
発売中!
お早目に購入
下さい。

丹波OB大学・大学院の受講生募集

- 募 集 講 座
 - ①大学講座(4年制、定員60名)
 - ②大学院講座(2年制、定員30名)
- 対 象
概ね60歳以上で丹波地域在住者
- 受 講 料 年間12,500円
- 受 付 期 間 平成27年1月20日(火)～3月13日(金)*先着順



丹波の森新春書き初め展



- 日 程 ①平成27年1月30日(金)～2月1日(日)
②平成27年2月6日(金)～8日(日)
- 場 所 ①丹波の森公苑 多目的ルーム・創作工房、展示ギャラリー
②篠山市立中央図書館 展示ホール

展示ギャラリーの利用案内



公苑内の入口横にある展示ギャラリーでは、絵画、写真、彫刻などの作品を無料で展示できます。ご利用下さい。

- 利用期間 休園日を除く12日以内
- 利用時間 9時～17時
※展示期間中は、隣接の喫茶スペースを体験コーナーとして利用できます。

みんなの工作室 兵庫県立丹波年輪の里

第11回

たんばはがき絵展

平成27年2月7日(土)～2月22日(日)
「丹波(たんば)」を題材に描かれたはがきサイズの絵の展示会。入賞作品を含む全応募作品を展示します。



座っ展2015

ー丹波で生まれた木の椅子ー

平成27年
4月29日(水・祝)～5月6日(水・祝)
丹波で活動する木工家たちが制作したいろいろな木の椅子が年輪の里に集まります。見て、座って、木のぬくもりを実感してください。



※ゴールデンウィーク期間中は他にも私のクラフト作品展や丹波ウッドワーカーズクラフトなど、楽しいイベントを開催予定です。

春の木木市

平成27年
5月23日(土) 予定

丹波市内の製材所等から
DIY 向けの端材が大集合!
掘り出し物があるかも?!



お問い合わせ先

～25種類の選べる楽しいクラフトメニューをはじめ、小さなアクセサリから木のおもちゃ、家具作りまで、工具や材料をご用意してスタッフ一同皆様のお越しをお待ちしています～

みんなの工作室 兵庫県立丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路102-3

TEL.0795-73-0725 FAX.0795-73-0727

URL <http://nenrin.org/> E-mail: mail@nenrin.org

木工作利用時間 9:00～17:00 (工作受付は16:00まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) 年末年始12/29～1/3

入館無料

工作室使用料一般100円、中学生以下50円(材料費別途要)

団体貸切要予約

兵庫県立ささやまの森公園

平成27年 1月

24日(土) エコ凧と折り紙コマを作ろう

25日(日) 木炭とミニ囲炉裏を作ろう

31日(土) バードフィーダー(エサ入れ)で野鳥を呼ぼう



バードフィーダー



黒豆味噌造りの様子

2月

1日(日) 黒豆味噌を造ろう

11日(水・祝) 棒焼きパンと

スープを作ろう

28日(土) 冬の昆虫を探そう

3月

8日(日) 花炭体験

14日(土) こんにゃくを作ろう

20日(金) 草木染め教室

22日(日) モビールを作ろう

25日(水) 四季の和菓子を作ろう

～ウグイス餅・桜餅～

29日(日) ナチュラルタペストリーを作ろう



モビール



春の里山まつり(昨年の様子)

4月12日(日)

春の里山まつり

サクラ満開の園地で
ゆっくりと過ごしましょう。

兵庫県立ささやまの森公園 〒669-2512 兵庫県篠山市川原511-1 TEL079(557)0045 / FAX079(557)0201
URL : <http://www.sasayamanomori.jp/> E-mail : csr@sasayamanomori.jp



兵庫県立 丹波並木道中央公園



公園のイベント

■ノルディックウォーキング：毎月1回開催

■花と緑の教室：毎月1回開催

■木工教室

大人の木工教室 毎月第1土曜日、毎月第3土曜日 10時～15時

子どもクラフト 毎月第4土曜日 13時30分～15時

*親子活動などでの団体受付は随時

■プリザーブドアレンジメント：年に4回程度開催

その他、公園では様々なイベントを開催しています!
詳細は公園のHPまたは、広報紙「PARK LIFE」をご覧ください。



公園の様子



ノルディックウォーキングの様子

地図

自動車：
舞鶴若狭自動車道
「丹南篠山口I.C.」
から約5分

電車：
JR 福知山線
「丹波大山駅」から
徒歩10分



兵庫県立丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県篠山市西古佐90番地

TEL 079-594-0990 (8:30～17:30)

FAX 079-594-0991

駐車場利用時間：8時～17時30分

入園料、駐車場とも無料

HP <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba/>
Twitter [namiki_michi](https://twitter.com/namiki_michi)

むかしばなしでホッと一息

大阪のかえると 丹後のかえり

大阪のかえりは、いつべん 丹後へ行つて
みたいと、びよん びよんとんで来ました。
丹後のかえりも、いつべん大阪へ行つてみた
いと、びよん びよんとんで来ました。
ちよつと、まんなかあたりの 丹波の水
分れ坂で、大阪のかえりと丹後のかえり
は、ばつたり出会いました。

「二ひきのかえりは、両手をつなぎあつて
立ち上がつて、ようこびました。」

「よう来たなあ。」

「ほんまに、よう来たなあ。」

「せやけど、まだ半分やで。」

「ほんなら、がんばるか。」

「二ひきのかえりは、両手をつないで立つ
たまま、これから行く方向を見ました。
ところが何としたことが、大阪のかえ
りが、言いました。」

「なんや、大阪とおんなじやないか。」

丹後のかえりも
言いました。

「なんや、丹後と
おんなじやない
か。」

二ひきのかえ
りは、立ち上が
つたので大きな
目は、うしろを
見

ていたのでした。
二ひきのかえ
りは、自分が来
た道を見ていた
のでした。



(丹波のむかしばなし第九集より)

好評
発売中

- 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし(第1集~第10集)… 販売価格 500円
- 丹波の森の草花・丹波の森名木ガイド…………… 販売価格 各500円
- 改訂版 丹波地方の動植物「草木と生きものガイド」…………… 販売価格 600円

(公財)兵庫丹波の森協会が発行している
丹波のむかしばなし(全十集)には百十九
話(篠山市五十二話・丹波市六十七話)の
昔から語り継がれてきた郷土の民話や伝説を
掲載しています。
このむかしばなしが温かい心を育む力を養
う一助になり、できるだけ多くの子どもの
たちが読んでくれることを願っています。



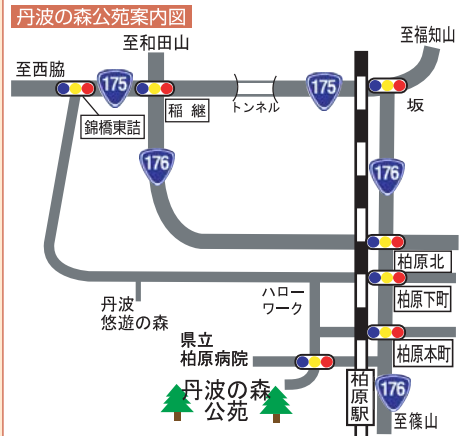
【お問い合わせ先】
(公財)兵庫丹波の森協会 Tel.(0795)73-0933

第25期「丹波の森大学」受講生募集

将来の丹波地域を創造するための
講義や先進地の視察を実施します。

- 定員 70名
- 受講料 10,000円
- 期間 平成27年6月~12月(10回)

募集する講座は、学校教育法に基づく大学等ではありません。
※詳細につきましては、4月頃ご案内いたします。




(公財)兵庫丹波の森協会
〒669-3309
丹波市柏原町柏原 5600
Tel.0795-73-0933
Fax.0795-72-5164
<http://www.tanba-mori.or.jp>
E-mail:morikoen@hk.sun-ip.or.jp
印刷 ウニスガ印刷株式会社

森のクイズ

丹波の森公園内に1本だけあるメグスリノキ(目薬の木)は、古くから目薬に利用されていたことが名前の由来になりました。目薬を作るにあたりメグスリノキのどの部分を利用したのでしょうか。

次の中から選んでください。

- ① 根
- ② 樹皮
- ③ 実

正解者には抽選の上、協会から記念品をプレゼントします。
クイズの答えと住所、氏名、ご意見などを書いてハガキで
事務局までお送りください。(〆切2月28日)